

ワンセグ 高瀬の 番組チェック

文：高瀬徹朗 *Takase Tetsuro*
本誌放送アナリスト・ワンセグウォッチャー

前回気にしていた「スマートテレビ」への不安(?)、それが現実のものとなりつつある。本誌主催「CES報告会」レポ(本号79頁~81頁)に詳しいが、スマートテレビが提供しようとしているアプリのメインコンテンツには、やはりデータ放送に近いサービスが想定されるらしい。データ放送はその勢いに押されてしまうのか……ととりあえず「スマートテレビ」に負けない、ビビットなネーミングが必要な、とは思った。それではチェック、スタート。

テレ東「URAKARA」

K-POPアイドルのドラマで 12セグ・ワンセグサイマルデータ放送

ファン向け番組の ファン向けデータ放送

韓国の超人気グループにして、最近では分裂騒動に揺れるKARA。テレビ東京で金曜深夜に放送中の『URAKARA』は、そんな彼女たちが本人役で出演する、ノンフィクションタッチのフィクションドラマ(?)だ。

連動データ放送の内容は12セグ・ワンセグのサイマル。「イントロダクション(番組概要)」「ストーリー」「キャスト」といったドラマ系おなじみのメニューに加え、番組内での写真を掲載した「ギャラリー」、ハングル講座を掲載した「スペシャル」、そして「プレゼント」が用意されている。

番組写真を紹介している「ギャラリー」を含め、とにかく写真が多い。それもあろうだが、1次リンクが比較的多く、ワンセグでの移行は全体的に重い印象だ。

とはいえ、重いのは最初のメニュー選択時だけで、メニュー内部の動きは軽い。おそらく、選択時に一斉ダウンロードをかけているのだろう。ストレスはさほど感じさせない設計だ。

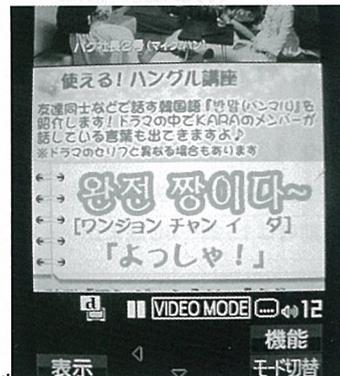
プレゼント応募は データ放送が最適に

「スペシャル」で紹介しているハングル講座は、番組内でメンバーが使っているネイティブな韓国語を中心に紹介。通常回ではおそらく、ドラマの進行と連動しているのだろうが、チェック当日(2月4日)はダイジェスト版。冒頭でも触れたトラブルの影響だろうか。ともかく、コンテンツとしてはユニークな内容だ。

当日の「プレゼント」はKARAのポスターを用意。ワンセグで応募画面に進むと、記入欄は「年齢層」「メールアドレス」「電話番号」のみ。名前すら記入させないとは、なかなか個人情報保護が徹底している。



NODを利用して特典動画へ飛べるNHK「バクマン。」



「URAKARA」ハングル講座。番組内で使った単語がメイン

12セグの方では「携帯からの応募」「TVからの応募」「PC・スマートフォンからの応募」を用意。テレビからの応募は結線が必要だが、作業としては一番楽だ。携帯はURL入力かQRコード、PC・スマホもURL入力力で応募画面に進めるようだ(要キーワード)。

いわゆる「ファン向け番組」なので評価が難しいが、プレゼント応募が12セグ・1セグとも「データ放送が一番楽」なのは好印象。ハングル講座はなかなかおもしろい。完全サイマルデータ放送には賛否両論あるだろうが、なるべく多くの番組にデータ放送を、という観点でいえば、実に前向きな取り組みといえるのではなかろうか。

NHK「番組技術展」より

2月初旬に行われたNHK「第40回番組技術展」にて、噂のデータ放送サービスを初めて見る機会に恵まれた。

NHK教育テレビ土曜18時より放送中のアニメ「バクマン。」連動データ放送でマイル(視聴ポイント)を貯めると特典が楽しめる、という内容だが、その特典のひとつとして短尺プレミアム動画を用意している。

動画を視聴するためにはテレビのLAN接続のほか、対応テレビが必要(アクティブラカJ:COMのSTB)。マイルに対する特典動画であるため契約は不要だが、つまりはNODを視聴できる環境が必要ということだ。噂を聞きながら今回が初見となったのは、この厳しい(?)条件に理由がある。

さて、あらためてサービスについて。あくまで再生プラットフォームとしてNODを利用しているため、契約などは不要。環境を整え、マイルを貯めれば無料で楽しめる仕組みだ。番組自体の視聴者ではないためコンテンツ自体の評価はできないが、担当者によれば概ね好評らしい。

環境が整わないユーザのために、結線すら不要な静止画コンテンツも用意されている。アニメの静止画というより、原作漫画のプレミアム版、といった4コマ風の内容だ。さすがにNHK、視聴者に環境整備を求めるコンテンツだけに終わるはずはない。

データ放送を経由したIPTVサービスの利用、という意味で、話題の「スマートテレビ」にも対抗できよう内容。展開にさらなる磨きをかけ、デジタル放送時代におけるデータ放送の存在感を高めてほしいものと期待する。